

戦争の悲惨さを知って

浜坂高生が募金呼びかけ

戦時下のウクライナからは22日、同町のJR浜坂駅
兵庫県内に避難している人前で募金活動を行った。生
々を支援しようと浜坂高生たちは、募金箱を手に「ご
(新温泉町菅屋)の生徒会「協力お願いします」と声を



募金への協力を呼びかける生徒たち=22日、新温泉町浜坂のJR浜坂駅前

張り上げ、駅利用者や通行人に協力を呼びかけた。ロシアによるウクライナ侵攻を受け、生徒たちは何か自分たちでできることは

ないか」と募金活動を計画した。7月下旬に同町湯のボケットパークで初めて行い、今回が2回目。9月に開かれる同校の文化祭でも予定しており、集めた募金は県内の避難民を支援する団体に寄付するという。生徒会長で3年の中村有翔さん(17)は「避難民の方々には少しでも笑顔になってほしい。募金活動が戦争の悲惨さを知り、支援を考えるきっかけにもらえたら」と話していた。(黒阪友哉)